

第3学年 国語科学習指導案

東広島市立志和堀小学校

- 1 日時 平成25年11月11日(月) 第5校時
- 2 学年 第3学年 男子5名 女子2名 計7名
- 3 単元・教材 単元名「お仕事だ! ワンブック」を作ろう
「もうどう犬の訓練」(東京書籍3年下)

4 単元について

○ 本単元は、学習指導要領国語第3・4学年「C 読むこと」の指導事項エ「目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりすること」を受けて設定した。

本教材「もうどう犬の訓練」は、犬の特長と盲導犬の定義が述べられた後に、具体的な訓練の内容や心構えが順番に説明されており、段落のまとまりが明確で、文章全体の構造が分かりやすくなっている。また、訓練の内容が、まとめた言葉で提示された後、具体的事例が述べられている。さらに多くの訓練をしている写真が掲載されているので、訓練の内容を視覚的にも理解しやすい。そのため、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章を要約することに適している。

本単元では、前半に教材文を学習した後、後半に「お仕事だ! ワンブック」を作る活動を設定している。児童は自分の調べたい働く犬について、図書から情報を探し、その内容を要約して、カードにまとめる。この活動を通して、児童は多くの情報の中から、適切な本や資料を選んだり、どこに知りたい情報が掲載されているかを探ったりする力をつけることができる。また、目的に応じて必要な情報を選択し、要約する力をつけることもできると考える。

○ 児童は、生き物が好きである。ほとんどの家庭で犬をペットとして飼っており、児童にとって、犬は身近な存在である。故に、児童は興味を持ってこの学習を進めることができると考える。

本学級の児童は、5月に「自然のかくし絵」で、段落の内容をとらえながら読む学習をした。段落ごとに内容をとらえていったが、キーワードやキーセンテンスがわからず内容をまとめることの難しかった児童がおり、個人差が非常に大きかった。また、単元末テストの平均点は84点、チャレンジテストの平均点は65点であり、自力で初見の文章の内容をとらえることが難しいという実態である。しかし、読書をするには、全員積極的であり、調べ学習では、児童は意欲的に図鑑などで昆虫について調べていた。

NRT学力テストの結果をしてみると、主語・述語についての理解、指示語の内容についての理解、大事な言葉の読み取り、主題の読み取りなど全般的に課題があることが分かった。

○ 指導に当たっては、以下の点について重点的に取り組む。

① 単元にふさわしい言語活動の設定

- ・ 並行読書を行い、自分の調べたことを書き留めることができるようにする。
- ・ 単元の前半で、要約の仕方を学び、1時間の中に自力で要約する場面を設定する。
- ・ 単元の後半で、自分の課題に関する情報を集め、それを要約して、「お仕事だ! ワンブック」を作成する。また、必須課題を設定し、前半の学習を生かせるようにする。

② 授業のねらいを達成するための指導の工夫

- ・ 学習計画を掲示し、見通しをもたせる。
- ・ 学習の足跡を掲示し、既習事項を確認できるようにする。
- ・ 読み方ナビを活用し、スモールステップで内容を読み取れるようにする。
- ・ 主語・述語の関係、順序を表す言葉や接続語、具体例などに着目させて、内容を読み取るようにする。
- ・ 写真や動画を有効に活用し、内容の理解を深めさせる。
- ・ 話型を活用し、意見・理由を分かりやすく表現させたり、自分の意見と比較しながら聞かせたりする。
- ・ 個人差に対応して、ヒントカードを準備する。

5 単元の目標

○ 「お仕事だ! ワンブック」を作ることに興味をもち、進んで図書を選び、必要な情報を集めようと

している。

【国語への関心・意欲・態度】

- 目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章を要約することができる。

【C読むこと（1）エ】

- 主語、述語、修飾語などの役割を理解することができる。

- 指示語や接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解することができる。

【伝統的な言語文化と言語の特質に関する事項イ（キ）（ク）】

6 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
「記録や報告の文章，図鑑や事典などを読んで利用する言語活動」を通じた指導 要約の仕方を理解し，自分の課題解決のために情報を集めてそれらを要約し，「お仕事だ！ワンブック」を作る。		
○自分の課題を解決するために、本や文章の選び方や利用の仕方を工夫しようとしている。	○自分の課題を解決するのに必要な文章の要点に着目して読み、必要な部分を引用したり要約したりしている。	○文の主語、述語、修飾語などの役割を理解し、文章を読んでいる。 ○指示語や接続語は、文相互の関係、段落相互の関係を端的に表す手掛かりになることを理解し、文章を読んでいる。

7 単元の指導計画（全11時間）

次	時	学習内容	評価計画				
			関	読	言	評価規準	評価方法
		働く犬に関する本を読む。 (並行読書)					
一	1	単元のねらいを確かめ、学習計画を立てる。	◎			単元のねらいを確かめ、意欲的に学習計画を立てようとしている。	発言
	2	全文を通読し、盲導犬とは何かをとらえ、教材文の大体をとらえる。		◎		段落のまとまりを考え、大体どんなことが書いてあるかとらえることができる。	発言 ノート
二	1	大事な言葉や文を手がかりに、盲導犬について読み取り、要約する。(①～③段落)		◎	○	大事な言葉や文を見つけ、言葉を補ったり書き換えたりしながら、内容を短くまとめている。	発言 ノート
	2	大事な言葉や文を手がかりに、訓練の内容を読み取り、要約する。(④～⑧段落)		◎	○	大事な言葉や文を見つけ、言葉を補ったり書き換えたりしながら、内容を短くまとめている。	発言 ノート
	3	大事な言葉や文を手がかりに、訓練の内容を読み取り、要約する。(⑨～⑫段落)		◎	○	大事な言葉や文を見つけ、言葉を補ったり書き換えたりしながら、内容を短くまとめている。	発言 ノート
	4	大事な言葉や文を手がかりに、訓練の内容を読み取り、要約する。(⑬～⑮段落)		◎	○	大事な言葉や文を見つけ、言葉を補ったり書き換えたりしながら、内容を短くまとめている。	発言 ノート

	5	大事な言葉や文を手がかりに、訓練を終えた盲導犬のくらしを読み取り、要約する。(⑩段落)	◎	○	大事な言葉や文を見つけ、言葉を補ったり書き換えたりしながら、内容を短くまとめている。	発言 ノート
三	1 2	いろいろな本や資料の中から、働く犬について知りたい事柄を調べる。	○	◎	知りたい事柄を調べるために、大事な言葉や文を見つけながら読んでいます。	行動観察 ノート
	3	調べて分かったことを要約して、「お仕事だ！ワンブック」のカードを作る。	○	◎	調べて分かったことを整理して、大事な言葉や文を落とさないように要約している。	行動観察 カード
	4	友達と「お仕事だ！ワンブック」を読み合い、感想を交流する。	◎		働く犬について、分かりやすく要約しているか確かめたり感想を述べたりしようとしている。	行動観察 発言

8 本時の展開

(1) 本時の目標

教材文の中の大事な言葉や文を手掛かりに、誘導訓練の内容を読み取り、要約することができる。

(2) 観点別評価規準

教材文の中の大事な言葉や文を手掛かりに、誘導訓練の内容を読み取り、要約している。【読むこと】

(3) 準備物

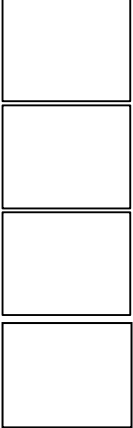
写真、ヒントカード、ホワイトボード

(4) 本時の展開

学習活動	指導上の留意点 ○指導・支援 ◎個に応じた手立て	評価規準 (評価方法)
1 前回までの学習を振り返り、学習課題を確認する。	○既習事項の掲示を活用し、要約のポイントを想起させる。	
次にする訓練について読み取り、要約しよう。		
2 形式段落⑨～⑫のそれぞれを一文要約する。	○主語と述語に気をつけて、端的に内容をまとめさせる。 ○まとめた一文の主語を入れ替えることで、内容の理解を深める。 ○写真も手掛かりにして、内容を読み取らせる。 ○4つの形式段落のうち、⑨⑩⑪段落は全員で考えまとめていき、⑫段落は自力で考えさせ、話し合いを通してまとめさせる。	
3 人を安全に導く訓練とは何かを要約する。	○前時の命令服従訓練でまとめたものを掲示しておき、まとめる時の参考にさせる。 ○大事な言葉や文に着目して、それをもとに抽象と具体の2文で要約させる。 ◎一人でまとめることが難しい児童には、ヒントカードを選択させて、まとめさせる。	大事な言葉や文を手掛かりに訓練の内容を読み取り、要約している。(ノート・発言)
人を安全に導く訓練は、どんなものですか。		

<p>4 学習のまとめを行い、次時の学習内容を確認する。</p>	<p>○意見をホワイトボードに書いて比較させ、より分かりやすい要約をしていく場を設定する。</p> <p>○みんなで作った要約の文章をノートに書かせる。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>次の訓練は、人を安全にみちびくことである。たとえば、犬は、危ないもの前で止まったりよけたりすることや危険な命令に従わないことを教えられる。</p> </div> <p>○人を安全に導く訓練の動画を見せ、学習内容の理解を深める。</p> <p>○盲導犬の安全訓練について思ったことを発表させ、次時の学習内容を確認する。</p> <p>○要約の仕方について自己評価・相互評価を行い、次時への意欲につなげる。</p>	
----------------------------------	--	--

(5) 板書計画

<div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">(ま)</p> <p style="text-align: center;">要約</p> <p>次の訓練は、人を安全にみちびくことである。たとえば、犬は、危ないもの前で止まったりよけたりすることや危険な命令に従わないことを教えられる。</p> </div>	 <p>写真</p>	<p>⑫ 犬は、使っている人にとってきけんな命令にはしたがわらないことも教えられる。</p> <p>⑪ 犬は、あぶないもの前で止まったり、よけたりすることをくり返して 教えこまれる。</p> <p>⑩ ハーネスが、犬の体に 取り付けられる。</p> <p>⑨ 次の訓練は、人を安全に みちびくことである。</p>	<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">(め)</p> <p>次にする訓練について読み取り、要約しよう。</p> </div> <p style="text-align: right;">もっどう犬の訓練</p> <p style="text-align: right;">吉原 順平</p>
		<p>段落 主語 修飾語 述語</p>	